

2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月15日

上場会社名 パスロジ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4426 URL <https://www.passlogy.com/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 小川 秀治
問合せ先責任者 （役職名） 管理部長 （氏名） 黛 慎一 TEL 03 (5283) 2263
四半期発行情報提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第3四半期の業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	229	△10.6	△90	—	△84	—	70	93.2
2025年6月期第3四半期	257	△3.7	△24	—	△15	—	36	72.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	35.34	—
2025年6月期第3四半期	18.22	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第3四半期	740	488	65.9
2025年6月期	757	483	63.8

（参考）自己資本 2026年6月期第3四半期 488百万円 2025年6月期 483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2026年6月期の配当金額は未定であります。

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	344	1.7	△90	—	△82	—	71	112.1	35.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期3Q	2,000,000株	2025年6月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	9,800株	2025年6月期	9,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期3Q	1,990,200株	2025年6月期3Q	1,997,822株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年7月1日から2026年3月31日）における国内経済は、不安定な国際情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高止まりや、円安基調の継続による輸入物価の上昇等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。企業の設備投資においては、物価上昇によるコスト増への警戒感から慎重な姿勢が見られるものの、人手不足を背景とした省力化投資や、競争力強化に向けたデジタルトランスフォーメーション（DX）関連への投資は堅調に継続しております。

当社が属するITセキュリティ業界におきましては、生成AIを悪用した巧妙なフィッシング攻撃や、自動化されたマルウェア作成等のサイバー脅威が一段と高度化・多角化しております。特に、サプライチェーンを標的とした攻撃やランサムウェア被害が社会問題化する中、政府による「重要インフラの安全性確保」に向けた指針の強化や、企業における「ゼロトラスト・アーキテクチャ」への移行が進んでおります。これにより、本人確認の厳格化を目的とした多要素認証（注）への需要は、業種を問わず高い水準で推移いたしました。

このような事業環境下において、当社は、主力製品である法人向け認証セキュリティ製品「PassLogic（パスロジック）」を、「知識・所有物・生体の3要素すべてに対応。マトリックス方式等9種の認証による多彩な多要素認証を提供するソリューション」として、高いセキュリティレベルと利便性の両立を求める企業へ積極的に提案してまいりました。広告宣伝活動の展開やパートナー企業への販売支援を推進するとともに、新規販売チャネルの開拓や営業施策の最適化を図り、販売網の拡充と顧客基盤の強化に努めてまいりました。

これらの営業及びマーケティング活動の結果、新規顧客の獲得に加え、既存顧客への追加導入や新規サービス事業者での採用が進捗しました。一方で、一部の既存顧客において、設備更新の見送りやリモートアクセス方式の変更（DaaS環境の構成変更、VPNインフラの集約等）が見られたほか、システム更改計画の変更による売上計上の繰り延べが発生いたしました。また、販売代理店やSIer等で構成される販売チャネルにおける提案体制の構築に時間を要したこと等から、提案機会の創出や契約更新の進捗に影響を及ぼし、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

費用面におきましては、将来の製品差別化及び優位性確立を見据えた新技術の検証・評価や、知的資産の整備に注力したことにより、販売費及び一般管理費が前年同期比で増加いたしました。これらは中長期的な成長基盤を強固にするための先行投資として位置づけております。

なお、保有する投資有価証券の銘柄調整を実施したことに伴い、投資有価証券売却益190,565千円を特別利益として計上しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は229,874千円（前年同期比10.6%減）、営業損失は90,746千円（前年同期は営業損失24,055千円）、経常損失は84,756千円（前年同期は経常損失15,499千円）となりました。四半期純利益は70,336千円（前年同期比93.2%増）となりました。

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（注）「知識」、「所有物」、「生体」の認証要素のうち、複数の認証要素を使って認証する方式です。1要素のみで認証するよりも不正アクセスを防止する効果が高いとされております。

PassLogicが提供可能な多要素認証については、下記ページをご参照ください。

・「PassLogicの多要素認証」ページURL：<https://passlogic.jp/multi-factor-authentication/>

（2）当四半期の財政状態の概況

（流動資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は290,816千円で、前事業年度末に比べ82,942千円増加しております。預け金の増加100,043千円、現金及び預金の減少9,683千円が主な変動要因であります。

（固定資産）

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は449,998千円で、前事業年度末に比べ99,604千円減少しております。投資有価証券の減少127,019千円、建設仮勘定の減少50,973千円、ソフトウェア仮勘定の減少36,507千円、建物の増加69,776千円、ソフトウェアの増加22,648千円、構築物の増加14,936千円が主な変動要因であります。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は184,145千円で、前事業年度末に比べ19,912千円増加しております。未払法人税等の増加34,531千円、賞与引当金の増加5,541千円、未払金の減少14,091千円、未払費用の減少8,030千円、未払消費税等の減少4,577千円が主な変動要因であります。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は68,507千円で、前事業年度末に比べ41,572千円減少しております。繰延税金負債の減少20,123千円、長期前受収益の減少12,872千円、長期借入金の減少8,577千円が変動要因であります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は488,162千円で、前事業年度末に比べ4,997千円増加しております。繰越利益剰余金の増加54,414千円、その他有価証券評価差額金の減少49,417千円が主な変動要因であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、2026年3月16日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,587	72,903
売掛金	30,341	25,722
前払費用	13,482	12,775
預け金	72,129	172,173
その他	9,334	7,241
流動資産合計	207,874	290,816
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,266	79,956
減価償却累計額	△3,114	△4,026
建物（純額）	6,152	75,929
構築物	815	15,834
減価償却累計額	△195	△278
構築物（純額）	619	15,556
工具、器具及び備品	643	1,108
減価償却累計額	△281	△429
工具、器具及び備品（純額）	361	679
土地	22,471	22,471
建設仮勘定	53,291	2,317
有形固定資産合計	82,897	116,954
無形固定資産		
ソフトウェア	79,309	101,958
ソフトウェア仮勘定	41,392	4,885
無形固定資産合計	120,702	106,843
投資その他の資産		
投資有価証券	332,099	205,080
差入保証金	12,396	10,995
長期前払費用	1,507	885
繰延税金資産	—	9,239
投資その他の資産合計	346,003	226,200
固定資産合計	549,602	449,998
資産合計	757,477	740,815

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	11,436	11,436
未払金	25,016	10,925
未払費用	17,177	9,147
未払法人税等	145	34,676
未払消費税等	4,577	—
前受収益	73,554	76,949
賞与引当金	—	5,541
その他	32,325	35,468
流動負債合計	164,232	184,145
固定負債		
長期借入金	58,081	49,504
繰延税金負債	20,123	—
長期前受収益	31,876	19,003
固定負債合計	110,080	68,507
負債合計	274,312	252,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	311,344	365,759
利益剰余金合計	336,344	390,759
自己株式	△1,627	△1,627
株主資本合計	434,716	489,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,448	△969
評価・換算差額等合計	48,448	△969
純資産合計	483,164	488,162
負債純資産合計	757,477	740,815

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	257,259	229,874
売上原価	96,039	110,665
売上総利益	161,220	119,209
販売費及び一般管理費	185,275	209,955
営業損失 (△)	△24,055	△90,746
営業外収益		
受取利息	39	98
受取配当金	9,830	6,965
その他	125	152
営業外収益合計	9,995	7,216
営業外費用		
支払利息	1,121	1,108
支払保証料	236	117
その他	80	0
営業外費用合計	1,438	1,225
経常損失 (△)	△15,499	△84,756
特別利益		
投資有価証券売却益	68,926	190,565
特別利益合計	68,926	190,565
税引前四半期純利益	53,426	105,809
法人税、住民税及び事業税	9,258	37,719
法人税等調整額	7,761	△2,246
法人税等合計	17,020	35,472
四半期純利益	36,406	70,336

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、自社製品開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報等の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	43,404千円	50,305千円